【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【公表番号】特表2002-506463(P2002-506463A)
【公表日】平成14年2月26日(2002.2.26)
【出願番号】特願平11-554331
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/196　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/341　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/40　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/44　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/519　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/522　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/54　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/58　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/06
Ａ６１Ｋ　31/196
Ａ６１Ｋ　31/341
Ａ６１Ｋ　31/40
Ａ６１Ｋ　31/44
Ａ６１Ｋ　31/519
Ａ６１Ｋ　31/522
Ａ６１Ｋ　31/54
Ａ６１Ｋ　31/58
Ａ６１Ｐ　7/10
Ａ６１Ｐ　13/12
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｋ　31/522
Ａ６１Ｋ　31:341

【手続補正書】
【提出日】平成18年4月18日(2006.4.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成１８年４月１８日

特許庁長官　殿

１．事件の表示

平成１１年特許願第５５４３３１号

２．補正をする者

住所　アメリカ合衆国　カリフォルニア　９４３０４，　パロ　アルト，
ポーター　ドライブ　３１７２

名称　シーブイ　セラピューティクス，　インコーポレイテッド

３．代理人

住所　〒540-6015　大阪府大阪市中央区城見一丁目２番２７号
クリスタルタワー１５階

氏名　（７８２８）弁理士　山本　秀策

電話（大阪）０６－６９４９－３９１０

４．補正対象書類名

請求の範囲

５．補正対象項目名

請求の範囲

６．補正の内容

6-1.　請求の範囲を別紙の通り補正します。

特許庁 18.4.20

請求の範囲

１．薬学的有効量のアデノシンA1アンタゴニストおよび非アデノシン改変利尿薬を含有する組成物。

２．前記アデノシンA1アンタゴニストがBG9719である、請求項１に記載の組成物。

３．前記利尿薬が、ヒドロクロロチアジド類、フロセミド、トルスミド(torsumide)、ブメタニド、タクリン酸(thacrynic acid)、ピレタニド、ノルセミド、スピロノラクトン、トリアムテレン、およびアミロライドチアジド類からなる群から選択される、請求項１に記載の組成物。

４．利尿薬に不応性の動物において利尿効果を誘導するための薬物であって、治療的有効量のアデノシンA1アンタゴニストを、利尿効果を誘導し得る第２の薬学的組成物と組み合わせて含有する、薬物。

５．前記アデノシンA1アンタゴニストが、BG9719、その塩、エステル、またはアナログである、請求項４に記載の薬物。

６．前記利尿薬が、ヒドロクロロチアジド、フロセミド、トルスミド、ブメタニド、タクリン酸、ピレタニド、ノルセミド、スピロノラクトン、トリアムテレン、およびアミドライドチアジドからなる群から選択される、請求項４に記載の薬物。

７．前記利尿薬が、前記アデノシンA1アンタゴニストの投与に続いて投与するために処方される、請求項４に記載の薬物。

８．前記利尿薬が、前記アデノシンA1アンタゴニストと実質的に同時に投与するために処方される、請求項４に記載の薬物。

９．前記利尿薬が、前記アデノシンA1アンタゴニストの前に投与するために処方される、請求項４に記載の薬物。

１０．患者における非アデノシン改変利尿薬の利尿効果を維持または回復するための薬物であって、該非アデノシン改変利尿薬と組み合わせてアデノシンA1アンタゴニストを含有する、薬物。

１１．前記利尿薬がフロセミドである、請求項１０に記載の薬物。

１２．前記アデノシンA1アンタゴニストがBG9719、その塩、エステル、またはアナログである、請求項１０に記載の薬物。

１３．患者における腎機能を維持または回復するための薬物であって、治療的有効量のアデノシンA1アンタゴニストを、利尿効果を誘導し得る第２の薬学的組成物と組み合わせて含有する、薬物。

１４．前記第２の薬学的組成物がループ利尿薬および遠位利尿薬を含有する、請求項１３に記載の薬物。

１５．患者の糸球体濾過速度のモニターと組み合わせて、該患者における腎機能を維持または回復するための薬物であって、該薬物は、治療的有効量の非アデノシン改変利尿薬および治療有効量のアデノシンA1アンタゴニストを含有し、
該アデノシンA1アンタゴニストは、該患者の糸球体濾過速度が20％以上、正常な糸球体濾過速度を下回る場合にのみ投与される、薬物。

１６．前記アゴニストがBG9719である、請求項１５に記載の薬物。

１７．利尿に不応性の患者を処置するための薬学的組成物であって、請求項１に記載の薬学的組成物を含有する、組成物。